

基本事件番号 平成・令和 ○ 年(家)第 888 号 【本人: 後見 一郎】

記載例

財産目録 (定期報告用)

令和 ○ 年 6 月 20 日 作成者氏名 後見 太郎

※ 2以下の各項目は、必ずいずれかの □ にレ点を入れてください。
※ 3以下の財産の内容に少しでも変化があった場合は、右下の □ にレ点を付けてください。この場合は、前回までに報告したのも含め、改めて現在の財産の内容を別紙に記載し、その財産の内容が分かる資料(固定資産評価証明書(納税通知書)、保険証券など)のコピーを添付してください。
※ 保佐人・補助人で、財産管理に関する代理権が付与されていない場合は、財産目録の作成・提出は必要ありません。

1 預貯金・現金

本人の財産の内容は以下のとおりです。 ※過去1年分の預貯金通帳のコピーを添付してください。
※「最終記帳日」欄には直近の記帳手続をした日を書いてください。

Table with 8 columns: 金融機関の名称, 支店名, 口座種別, 口座番号(契約番号), 残高(円), 最終記帳日, 前回報告時の残高, 管理者. Includes rows for 銀行, 現金, and 合計.

過去1年分の預貯金通帳のコピー(預貯金通帳の表紙及びその裏面も)を提出してください。

2 株式, 投資信託, 公社債, 各種金融資産 □ 所有なし

※残高が分かる明細書(有価証券取引残高報告書など)のコピーを添付してください。

Table with 3 columns: 種類, 銘柄, 振出人等, 数量(口数, 株数, 額面金額等). Includes row for 株式 and a callout box for reporting requirements.

最新の有価証券取引残高報告書などのコピーを提出してください。

不動産, 保険, 債権・負債の有無や前回報告以降の内容の変動の有無について, こちらにレ点を付け, さらに変動がある場合は別紙に財産の内容や変動事由を書いてください。

3 不動産(土地) □ 本人名義 □ ありません。
□ 所有なし ✓ 本人名義の不動産(土地)に変化があり, 内容は添付の別紙のとおりです。

4 不動産(建物) □ 本人名義の不動産(建物)はありますが, 前回報告から変化はありません。
□ 所有なし ✓ 本人名義の不動産(建物)に変化があり, 内容は添付の別紙のとおりです。

5 保険契約(本人が契約者又は受取人になっているもの)
□ 契約なし ✓ 保険契約はありますが, 前回報告から変化はありません。
□ 保険契約に変化があり, 内容は添付の別紙のとおりです。

6 債権・負債 □ 本人の債権・負債はありますが, 前回報告から変化はありません。
✓ 債権・負債なし □ 本人の債権・負債に変化があり, 内容は添付の別紙のとおりです。

記載例**【 財産目録（定期報告用）・別紙 】****3 不動産（土地） ※所有する土地全部の固定資産評価証明書（納税通知書）のコピーを添付してください。**

所在	地番	地目	地積 (㎡)	変動事由
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	宅地	100	売却
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	宅地	50	売却
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	宅地	2,000	(変化なし)
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	山林	1,000	(変化なし)

売却した土地については、その事実が分かる資料を添付し（既に提出している場合は不要です）、その他の土地については、固定資産評価証明書（納税通知書）のコピーを添付してください。

4 不動産（建物） ※所有する建物全部の固定資産評価証明書（納税通知書）のコピーを添付してください。

所在	家屋番号	種類	床面積(㎡)	変動事由
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	居宅	100	取壊し
●●市●●町●丁目●番地●	●●番●	居宅	200	(変化なし)

取り壊した建物については、その事実が分かる資料を添付し（既に提出している場合は不要です）、その他の建物については、固定資産評価証明書（納税通知書）のコピーを添付してください。

5 保険契約 ※すべての保険契約について保険証券のコピーを添付してください。

保険会社の名称	保険の種類	証書番号	保険金額（受取額）	受取人	変動事由

6 債権・負債 ※残高が分かる明細書等のコピーを添付してください。

債権者・債務者名	債権・負債の内容	債権・債務額（円）	返済月額（円）
合計			